

18. 献血

近年の医療技術の進歩、少子高齢化の影響等により、医療に必要な血液製剤の需要は年々増加している反面、献血可能な人口は減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

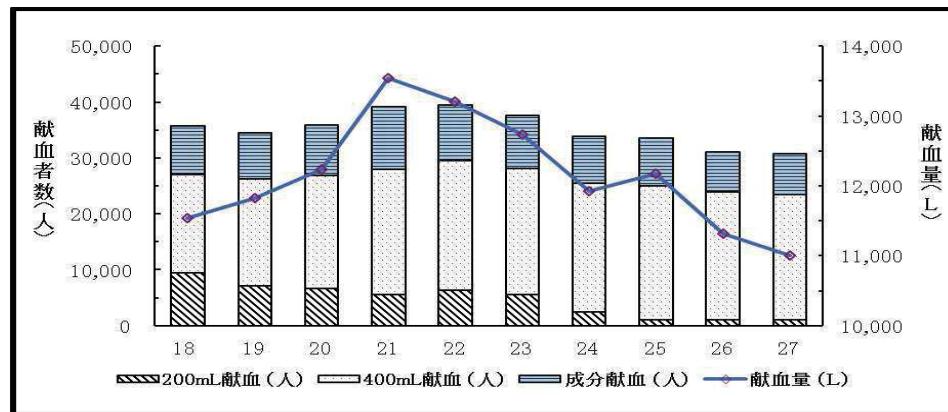
これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成15年7月に施行された。

この法律に基づき、「県内の医療機関で必要な血液は県民からの善意の献血で賄う」を合い言葉に、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

(1) 献血者数

平成27年度の献血者数は30,655人であり前年度より1.1%減、献血量は11,003リットルであり2.8%減であった。

なお、平成18年度からの献血者数及び献血量は下表のとおりである。



	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	対前年比	構成比
200mL献血(人)	9,413	7,015	6,553	5,575	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	104.2%	3.5%
400mL献血(人)	17,567	19,131	20,266	22,389	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	97.5%	72.8%
成分献血(人)	8,754	8,297	9,059	11,174	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	102.7%	23.7%
計(人)	35,734	34,443	35,878	39,138	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	98.9%	
献血量(L)	11,542	11,831	12,230	13,541	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	97.2%	

(2) 献血適格率等の状況

平成 27 年度の献血希望者に対する献血適格者の割合は、87.2%であった。

このうち男性は 93.6%の適格率を示しているのに対して、女性は血液比重の不足する申込者が不適格者の半分以上を占め、75.4%の適格率であった。

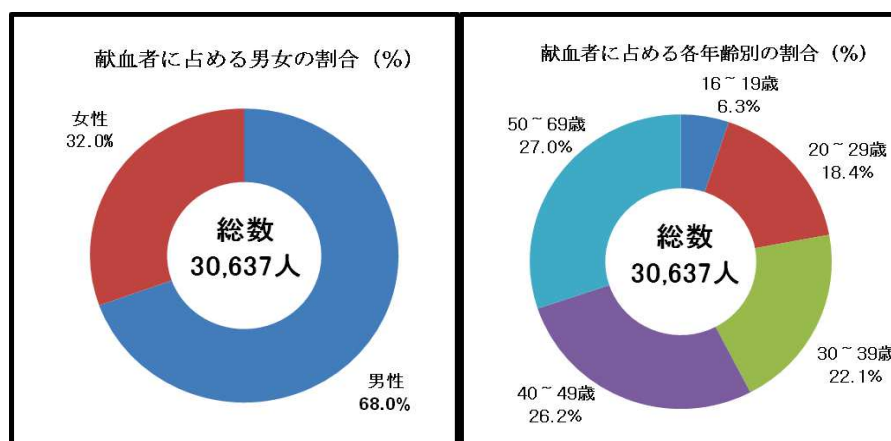
区分	受付者数	献血できなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)	構成比(%)	
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)			
男	200mL 献血	116	13	11.2%	8	6.9%	21	18.1%	95	81.9%
	400mL 献血	17,239	323	1.9%	798	4.6%	1,121	6.5%	16,118	93.5%
	血しょう成分献血	916	19	2.1%	59	6.4%	78	8.5%	838	91.5%
	血小板成分献血	4,472	46	1.0%	187	4.2%	233	5.2%	4,239	94.8%
	計	22,743	401	1.8%	1,052	4.6%	1,453	6.4%	21,290	93.6%
女	200mL 献血	1,231	142	11.5%	115	9.3%	257	20.9%	974	79.1%
	400mL 献血	8,724	1,973	22.6%	561	6.4%	2,534	29.0%	6,190	71.0%
	血しょう成分献血	696	39	5.6%	31	4.5%	70	10.1%	626	89.9%
	血小板成分献血	1,763	94	5.3%	94	5.3%	188	10.7%	1,575	89.3%
	計	12,414	2,248	18.1%	801	6.5%	3,049	24.6%	9,365	75.4%
合計	200mL 献血	1,347	155	11.5%	123	9.1%	278	20.6%	1,069	79.4%
	400mL 献血	25,963	2,296	8.8%	1,359	5.2%	3,655	14.1%	22,308	85.9%
	血しょう成分献血	1,612	58	3.6%	90	5.6%	148	9.2%	1,464	90.8%
	血小板成分献血	6,235	140	2.2%	281	4.5%	421	6.8%	5,814	93.2%
	計	35,157	2,649	7.5%	1,853	5.3%	4,502	12.8%	30,655	87.2%

(3)性別・年齢別からみた献血者の状況

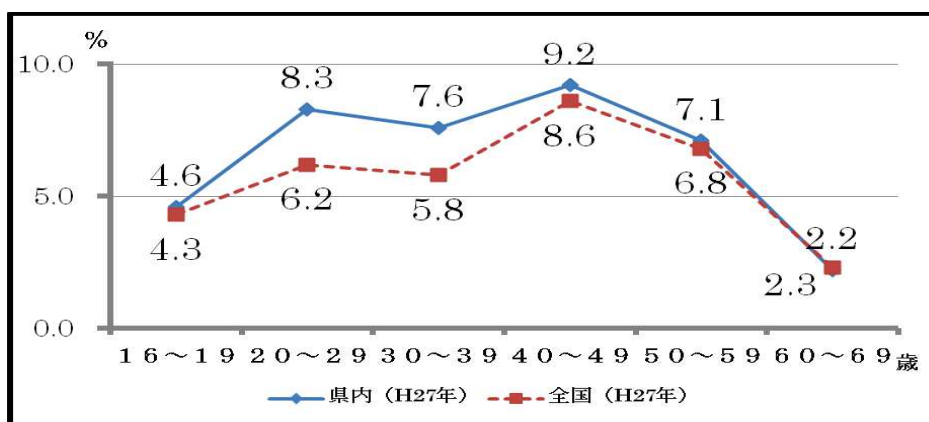
平成 27 年度の性別・年齢別の献血者数は、次のとおりである。性別では男性 68.0%、女性 32.0%（平成 26 年度 男性 69.1%、女性 30.9%）となっており、本県の献血者のうち女性の占める割合は全国平均（参考：平成 27 年 29.5%）と比べて高くなっている。また、その年齢別構成比は 40～49 歳が 26.2%、50～69 歳が 27.0%であり、40～69 歳が全体の 5 割以上を占めている。

年齢別献血率については、16～19 歳が 4.6%、20～29 歳が 8.3%、30～39 歳が 7.6%、40～49 歳が 9.2%、50～59 歳が 7.1%、60～69 歳が 2.2%となっている。

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	40	207	10	222	3	166	6	175	36	204	95	974	1,069
400mL献血	894	356	2,800	1,107	3,287	1,161	4,349	1,556	4,788	2,010	16,118	6,172	22,308
血しょう成分献血	13	28	93	114	137	117	263	128	332	239	838	626	1,464
血小板成分献血	21	41	446	392	943	396	1,414	535	1,415	211	4,239	1,575	5,814
合計	968	614	3,349	1,835	4,370	1,840	6,032	2,394	6,571	2,664	21,290	9,347	30,655



年齢別献血率（平成 27 年）



※「献血率」は献血者（人）/『平成 27 年住民基本台帳人口要覧（財）国土地理協会・出版』に基づく平成 27 年 1 月 1 日現在の人口（人）。

ただし、16～19 歳の人口は、15～19 歳人口で算出。

(4)血液製剤供給量の推移

県内における血液製剤の供給状況

上段:200ml換算数
(下段:実本数)

年度	全血製剤	赤血球製剤	血しょう製剤	血小板製剤	合計	備 考
18	0 (0)	45,923 (27,906)	18,371 (7,020)	46,797 (4,678)	111,091 (39,604)	
19	0 (0)	42,979 (24,872)	18,876.5 (6,059)	37,739 (3,772)	99,595 (34,703)	
20	0 (0)	46,017 (26,142)	24,228 (6,830)	46,700 (4,686)	116,945 (37,658)	
21	0 (0)	46,709 (25,927)	18,648 (5,480)	55,075 (5,505)	120,432 (36,912)	
22	0 (0)	47,269 (26,480)	18,820 (5,229)	48,455 (4,846)	114,544 (36,555)	
23	0 (0)	46,586 (25,897)	19,428 (5,282)	52,170 (5,216)	118,184 (36,395)	
24	4 (2)	46,454 (24,428)	19,554 (5,348)	54,595 (5,501)	120,607 (35,279)	
25	0 (0)	45,093 (23,199)	22,649 (6,250)	54,085 (5,410)	121,827 (34,859)	
26	0 (0)	46,079 (23,578)	20,805 (5,743)	57,185 (5,718)	124,069 (35,039)	
27	0 (0)	42,984 (21,944)	18,320 (4,976)	58,560 (5,856)	119,864 (32,776)	

※200mL換算本数は、400mL由来製剤=×2 2単位=×2 5単位=×5 10単位=×10
15単位=×15 20単位=×20 により算定。
平成19年度分より、FFP-LR1=×1.5 FFP-LR2=×3 により算定。

